

第 9 章

運輸及び通信

第9章 運輸及び通信

道路

平成19年4月1日現在の道路の実延長は1万8996.9kmで国道753.6km(構成比4.0%)、府道1781.6km(同9.4%)市町村道1万6462.0km(同86.6%)となっている。

道路の実延長のうち舗装道延長は1万8149.7kmで、前年より135.5km増加したが、実延長に占める舗装道の割合は95.5%となり、前年(95.4%)より0.1ポイント上昇した。

舗装道の割合をみると、国道100%、府道99.1%、市町村道95.0%となっている。

橋りょう数(橋長15m以上)は2759カ所で、延長は380.7kmとなり、道路の実延長の2.0%を占めている。

自動車

平成19年度末現在の府内の自動車保有台数は360万6649台で、前年度に比べ3万1007台(0.8%)減少した。

前年度に比べ小型二輪車が532台増加、乗用車が5万2636台減少した。

また、軽自動車が2万4279台増加、トラックは前年に比べ2070台の減少となった。

なお、自家用乗用車は209万7135台となり、全体の58.1%を占めている。

市町村別に自家用乗用車の台数をみると、最も多いのが大阪市の49万6427台で、自家用乗用車全体の23.7%を占め以下、堺市22万2288台(10.6%)、東大阪市12万3015台(5.9%)、枚方市10万8472台(5.2%)、豊中市9万3890台(4.5%)の順となっている。

航空輸送

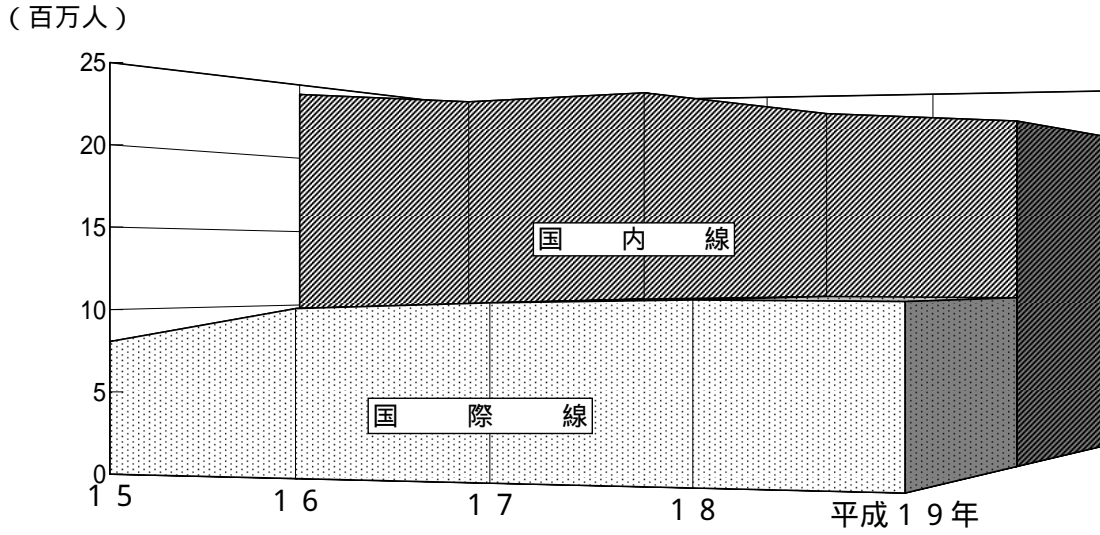
平成19年中における大阪国際空港の旅客、貨物数については、平成6年9月の関西国際空港開港に伴い、国際線の業務を終了しているため国内線のみについてみると、旅客数は1624万人で、前年に比べ4.8%の減少、貨物数は13万7441tで、前年に比べ5.5%減少している。

一方、関西国際空港についてみると、旅客数は国内線が554万9000人、国際線が1064万7000人で前年度に比べ国内線が2.7%増加、国際線は0.5%減少している。また、貨物数は国内線が5万2955t、国際線が76万3563tで前年度に比べ国内線が20.3%増加、国際線が0.6%減少となっている。

通信

平成19年度における府内各郵便局の引受内国郵便物数の状況を見ると、通常総数(小包を除く)は19億2674万2000通となり、前年に比べ1.5%増加した。次に、平成19年度末における府内全域の加入電話(日本電信電話分)総数は256万4000台で、前年度に比べ12.4%減少した。このうち事務用は65万8000台、住宅用は190万6000台となっている。

大阪の空港旅客数の推移



旅券発行の推移

